古都の商店街に活気を。空き店舗へのテナント募集に、73 件の問い合わせ

橿　原　商　工　会　議　所

機関名	橿原商工会議所		
所在地	奈良県橿原市久米町６５２－２		
電話番号	０７４４－２８－４４００		
地域概要	(1)管内人口　１２万５千人	(2)管内商店街数　８　商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数　３　商店街	(2)会員数　１２０商店	
	(3)空店舗率　１１　％	(4)大型空き店舗　－　店	
商店街の類型	1.超広域型商店街　2.広域型商店街　3.地域型商店街　4.近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成 13 年度　　空き店舗対策事業　　チャレンジショップ
　　総事業費　　９，０００千円

【事業実施内容】

１．背景

大和三山のほぼ中央に唐の長安を真似て建造された藤原京は、わが国初の本格的都城制をしいた都として、平城京へ遷都されるまで持統･文武･元明の三代天皇に 16 年間にわたって皇居が置かれた所である。神武天皇の宮跡を保存するために橿原神宮がここに作られたのは、そういった歴史を踏まえてのことである。

橿原市中心市街地の位置

その奈良県橿原市の広域圏の人口は平成 12 年で約 46 万人、10年前と比べて 2 万 7 千人の増加。このうち橿原市の人口は 12 万 5 千人で広域圏全体の27％を占めており、この 10 年間で約 9,500 人の増加が見られた。このように、橿原市は広域的にも市域全体としても人口･世帯数は増加しているが、これは郊外部や中心市街地の周辺部での増加であり、中心市街地である「八木地区」「今井地区」の人口は減少している。

大阪･京都など大都市のベッドタウンとして人口の急増を吸収していく中で、効果的な商業施設の整備にまで手が及ばず、商業施設は老朽化が進み、次第に都市の魅力を失っていった。そんな中心市街地に再び活気を取り戻そうと、橿原市中心市街地活性化基本計画が策定され、平成12年4月2日には、その計画にもとづき、橿原市TMO構想が認定された。橿原商工会議所がTMO機関となった。

それを受けて、平成13年4月より国、奈良県、橿原市と協議を行い、空き店舗対策事業を推進することになった。

2．事業内容

市内3商店街（中心市街地活性化地域及び本市の南玄関口商店街）の3商店街を選定し、その中の空き店舗に新しい個店を誘致する活動を行った。

手順としては、空き店舗調査、入店者募集、選考、改装･家賃補助金額の選考等を行い、平成13年8月より、順次オープンの為の販促活動を行い、3商店街において、5店舗の開店を見ることとなった

入居者募集の新聞広告。
募集店舗数は計 8 店舗

- 八木駅前商店街 3 店舗
- 今井町並み保存会 3 店舗
- 橿原神宮参道会 2 店舗

新聞に大きく扱われたことで、広範囲から応募者が集まった（右）。
対象地域となった今井町。趣のある古くからの街並みが残る(下)

オーナーへの夢助けます

橿原商工会議所

空き店舗出店者募る

橿原市内の主要3商店街

家賃や改装費の補助も

商店街のにぎわい取り戻そう

●出展者

YES ふれあい館
＜八木駅前商店街＞
地元商店街がコミュニティサロン
として出店した。

マサ施術院
＜八木駅前商店街＞
新聞広告を見て申し込んだカイロプラクイティックの施術院。3年前に脱サラし、自宅で施術院を営業していた。

パパママハウス
＜橿原神宮参道会＞
子供服、婦人服、雑貨
他県の空き店舗事業のニュースを見て、奈良県内で探し、この事業を知った。商いは初めて。

アクア
＜今井町並み保存会＞
アジア雑貨
新聞を見て応募。商売ははじめてという主婦。奈良、伊賀神戸など広範に物件を探していた。

文殊房
＜今井町並み保存会＞
毛筆「奈良リビング」というフリーペーパーを見て応募。毛筆の製造業を営んでおり、小売店舗を探していた。

●家賃補助　補助金９００万円の助成期間が１年間で、1ヶ月間当たりの家賃の全額を補助した。
●店内改装　１工事５０万円以下
●応募者　　電話・訪問あわせて 73 件
●選　考　　選考の結果 7 店舗が合格・出店は 5 店となった。

※開店イベントとしてチンドン屋のパレードを行った

開店イベントとしてチンドン屋のパレードを行った

【　効　果　】

①市内の他の商店街より、空き店舗対策事業の事業推進協力希望があった。
②事業に対する地元紙も大きく取り上げていただき、大きな反響があり、平成１５年度は、チャレンジショップ事業を推進する準備で進んでいる。
③行政の協力が不可欠である。

【課題・反省点】

①事業支援期間が１年間であり、実際の補助資金投入は、長くて８ヶ月程度となる。
②オープン時、年末大売出し時の販促活動費等に手厚い補助が必要と考える。
③店舗経営者に対して、専門的経営ノウハウの伝授が必要と考える。

【　教　訓　】

①地域の特性を利用した、特産品の製造販売等を行い、来街者、観光客等の入店者増を図る必要がある。
②地域一番店作りに対する支援措置が必要と考える。

【関連　URL】

橿原商工会議所　ｋｃｃｉ@ｍａｈｏｒｏｂａ．ｎｅ．ｊｐ